

課題名	長崎県内におけるヤノネカイガラムシの天敵による防除について										
成果の要約	中国から導入したヤノネカイガラムシの天敵ヤノネキイロコバチとヤノネツヤコバチはいずれも長崎県内で定着越冬が可能で、高い防除効果を発揮する。 ヤノネカイガラムシ発生園に放飼すると2～3年で低密度に抑えられる。										
成	第1表 ヤノネキイロコバチ及びヤノネツヤコバチ放飼園におけるヤノネカイガラムシの寄生密度及びヤノネキイロコバチとヤノネツヤコバチの寄生率の変動										
	調査月日	ヤノネカイガラムシ				被捕食率 <sup>2)</sup> (%)	寄生率(%)				
		平均密度 <sup>1)</sup>	生存虫密度 <sup>1)</sup>								
	1981年11月18日	16.47	16.38			—	0.61 <sup>3)</sup> (0)				
	1982・5・10	8.29	2.82			63.29	2.07(1.78)				
	8・9	3.74	3.59			4.92	7.07(4.71)				
	12・27	3.01	2.56			6.38	8.72(8.24)				
績	1) 雌成虫及び未成熟成虫 2) ヒメアカホシテントウによる捕食 3) ヤノネキイロコバチ羽化成虫を含む ( )内うちヤノネツヤコバチ寄生率のみ示す。										
	第2表 ヤノネキイロコバチのヤノネカイガラムシ密度抑制効果										
概	放飼地名	放飼前					放飼後				
		放飼月日	放飼数( /木)	ヤノネカイガラムシ密度( /葉)			調査月日	ヤノネ密度( /葉)	寄生率(%)		
要			2令	未成	成	計					
	加津佐町	6月29日	98.5	9.92	28.98	13.62	53.52	11月18日	4.65	64.7	
	多良見町	7・6	98.0	2.17	13.89	1.35	17.41	11・24	1.43	60.6	
	石田町	7・11	95.5	0.23	5.55	1.50	7.28	12・2	1.29	51.4	
	高来町	7・20	92.0	3.12	8.84	3.25	15.21	11・25	1.76	54.6	
	時津町	10・20	425.0	30.10	43.10	23.70	96.90	11・30	70.10	1.3	
	(果樹試験場)										
普及上の留意点	放飼方法・放飼上の注意については59年版病害虫防除基準に採用										